

令和5年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	小学生の大河津分水見学会	事業経緯	継続	実施体制	共催	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

現在、小学校では、さまざまな体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心を高め、それらと地域社会とのつながり等を考えさせる「キャリア教育」を推進している。

建設業においても、ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組んでいることから、その教育を支援し、小学生等に社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めてもらうことを目的に実施する。

2. 事業実施体制

主催：(一社)新潟県建設業協会

共催：(一社)北陸地域づくり協会

後援：国土交通省信濃川河川事務所、新潟県、新潟市教育委員会

3. 事業実施概要

◆対象校・日時・講師等

・新潟市立小林小学校

日時：令和5年11月1日(水) 8:30～12:15

学年・人数：4年生 32名、教師 2名

・新潟市立曾野木小学校

日時：令和5年11月2日(木) 8:20～12:00

学年・人数：4年生 52名、教師 3名

・新潟市立岡方第一小学校

日時：令和5年11月15日(水) 8:00～12:15

学年・人数：4年生 16名、教師 2名

・新潟市立笹口小学校

日時：令和5年11月22日(水) 8:25～12:10

学年・人数：4年生 51名、教師 3名

・講師：信濃川大河津資料館スタッフ

【参考】

上記を含め、新潟市立小学校を対象に9～11月に見学会を実施
参加校 22校、参加児童・教師計 744名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

信濃川大河津資料館には大河津分水路ができる以前から今日までの歴史に関わる展示がされており、見学会全体を通じて、子供たちは熱心にメモをとったり説明者に質問するなど熱心に学ぶ姿が目についた。自分たちが住む地域が大河津分水によって水害から守られていることや、大河津分水がどのようにつくられたのかについて実感することができたなど、関心を寄せる声が多く得られた。

大河津分水を学ぶことを通じて地域の成り立ちや防災への意識の高まりがうかがえるとともに、今後の学校生活においてその学びが広く共有されていくことに期待が持てる。また、建設業の魅力などを紹介する座学も設け、建設業への興味・関心を促した。



信濃川大河津資料館内



堰等操作室